



なんのために、生まれてきたの？

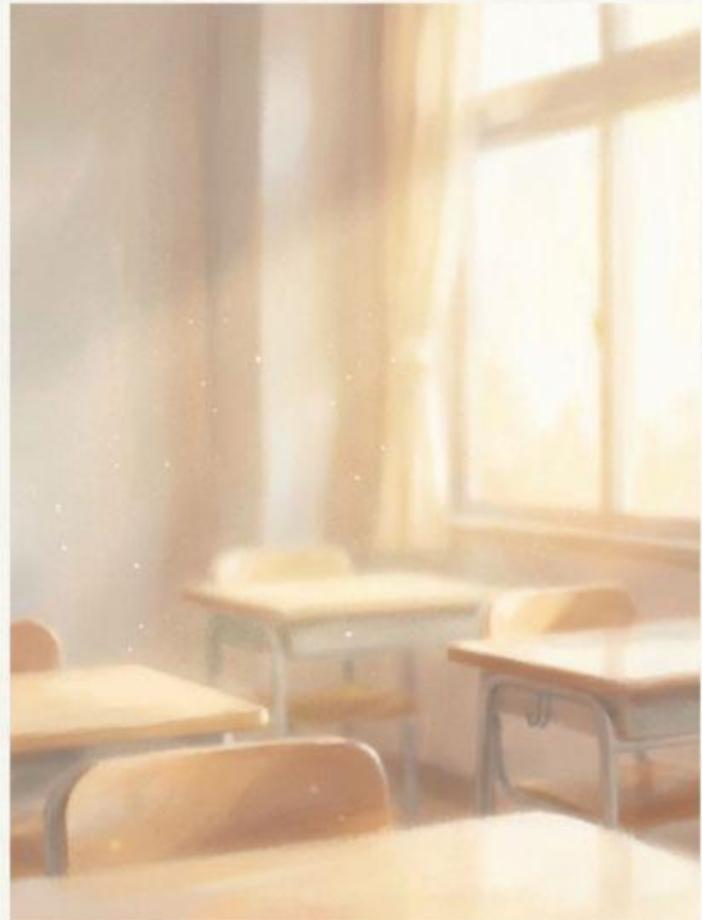
子どもたちが教えてくれた、たくさんの「こたえ」

ひとつの問い合わせかけました。

子どもたちに「なぜ、なんのために生まれてきたの？」と
尋ねました。

大人も時々忘れてしまう、シンプルで、とても深い問いです。

このプレゼンテーションでは、子どもたちから寄せ
られた、まっすぐで、多彩な、そして心に響く
「こたえ」の数々をご紹介します。



そこには、驚くほどたくさんの「こたえ」がありました。

表示されるのは、子どもたちの言葉、そのままです。一つとして同じものはありません。

“ゲームをするため” “人類の発展に資するため”

“親が勝手に産んだから。”

“家族を幸せにするため”

“おいしいものを食べ尽くすため。” “誰かの助けになるため。”

“自分自身が幸せになるため” “わからない” “子孫を残すため”

“ママを助けるため”

“人生を楽しむため”

“わからない”

“お姉ちゃんに悲しい思いをさせないため”

“社会を発展させるため”

“わからない” “まだ何もやってないからわからない”



【誰かのために】多くの答えは、他者とのつながりを向いていた

最も多かったのは、家族や友人、そしてまだ見ぬ誰かを笑顔にしたい、幸せにしたいという願いでした。自分の存在が、誰かの喜びにつながることを、子どもたちは知っています。

「家族を幸せにするため」

「周りの人を笑顔にするため。」

「こまっている人を助けるため」

「お姉ちゃんに悲しい思いをさせないため」

喜び
つながり
喜ばせる 手伝う
友人 愛 誰か
ため 存在 つながり
家族 誰か
つながり
喜び 幸せ 笑顔
平和 助ける ため
未来
喜ばせる 存在



【自分のために】人生を楽しみ、成長したいという想い

他者への想いと同じくらい、自分自身の幸せや成長を願う声も力強くありました。

人生を味わい、学び、より良い自分になること。それもまた、生きる大切な意味です。

「自分自身が幸せになるため」

「人生を楽しむため」

「自分を、成長させるため。」

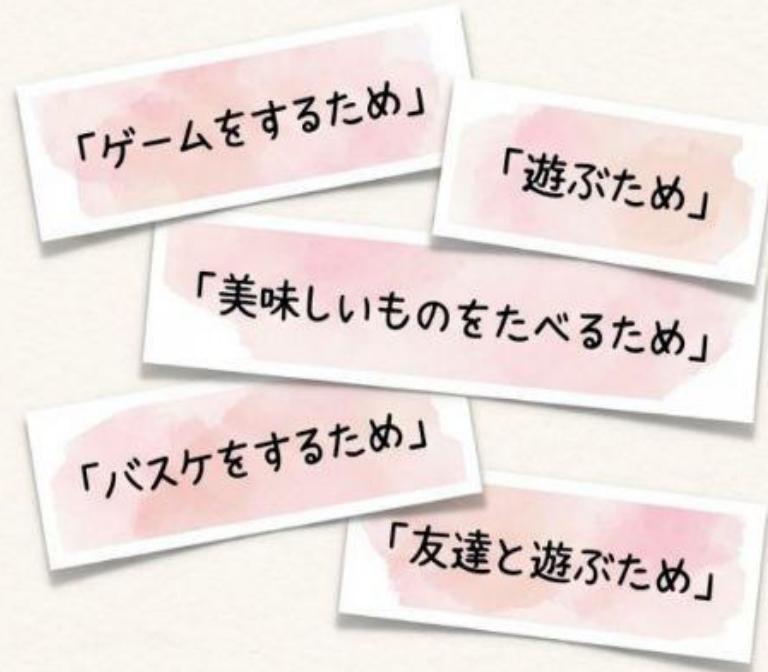
「自分の夢や目標をみつけるため」



【楽しむために】日々の喜びが、生きる力になる

壮大な目標だけが生きる理由ではありません。

「ゲームをすること」「おいしいものを食べること」。子どもたちの素直な言葉は、日々の小さな楽しみこそが人生を豊かに彩ることを教えてくれます。





【未来のために】次世代へ、社会へと続く視点

自分の人生を超えて、人類や社会、子孫といった大きな流れの中に存在を位置づける視点もありました。命をつなぎ、より良い未来を築くことへ貢献意識です。

「子孫を残すため」

「人間が絶滅しないようにするため」

「社会を発展させるため」

「色々な経験をして未来をより良くするために次の世代に次ぐため」

「親がのぞんだから」

「ママが生まれてほしいと思ったから」



「母と父が結婚したから」



【親のために】 自分という存在の 「はじまり」を見つめて

「親が望んだから」「産んでくれたから」。

自分の意思とは別のところに理由を求める答え。

それは、自分という命が誰かから強く望まれた、愛された存在であることの裏返しでもあります。

わからない

まだ何もやってないからわからない

まだ何もやってないからわからない

ない

わかんない

ない

そして、「わからない」という、とても正直なこたえ

多くの「わからない」「ない」という答えがありました。

これは、答えがないのではありません。

むしろ、これから自分だけの答えを見つけていく、

無限の可能性を秘めたスタート地点です。

この「余白」があるからこそ、私たちは探し続けるのかもしれません。

分かりません

ない

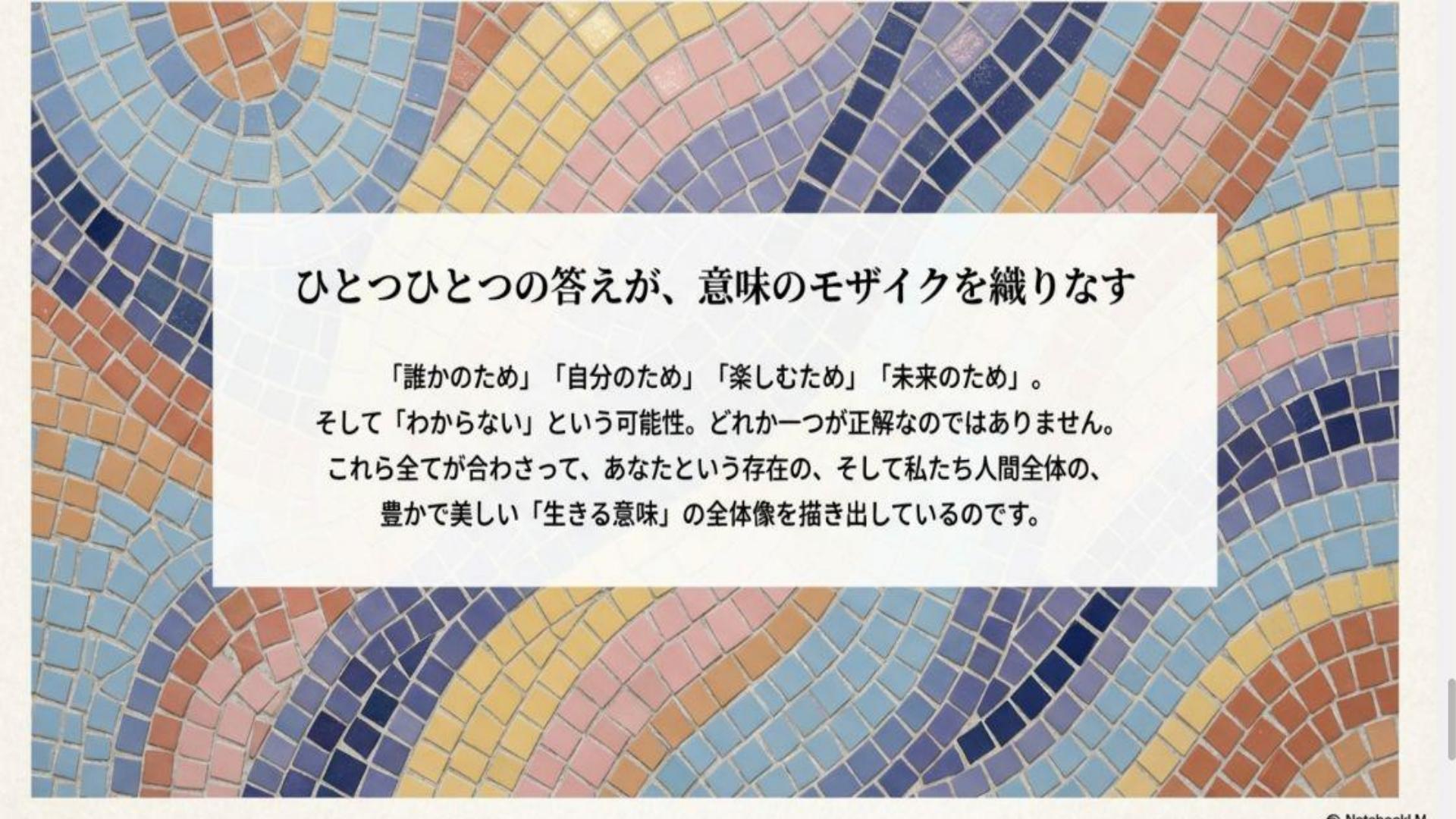
まだ何もやってないからわからない

ない

ない

わかんない

分かりません



ひとつひとつの答えが、意味のモザイクを織りなす

「誰かのため」「自分のため」「楽しむため」「未来のため」。
そして「わからない」という可能性。どれか一つが正解なのではありません。
これら全てが合わさって、あなたという存在の、そして私たち人間全体の、
豊かで美しい「生きる意味」の全体像を描き出しているのです。